

令和8年度「生命（いのち）の安全教育推進アドバイザー」派遣事業実施要綱

令和8年6月3日
総合教育政策局長決定

1. 趣旨

「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」（令和2年6月「性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議」決定）に基づき、内閣府・文部科学省が連携し、「生命（いのち）の安全教育」のための教材及び指導の手引きを作成し、令和3年4月に公表した。また、令和8年3月には、社会情勢の変化等を踏まえて教材等の拡充・改訂を行った。

性犯罪・性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないための教育として、「生命（いのち）の安全教育」は、生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切にする考えや、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を、発達段階に応じて身に付けることを目指すものであり、学校関係者による性犯罪等が社会問題となる中で、全国の教育委員会や学校等への普及啓発が必要な状況である。

本事業は、「生命（いのち）の安全教育」の普及啓発を進めるため、「生命（いのち）の安全教育」に取り組もうとする教育委員会や学校等が実施する教職員等を対象とした研修会等に、「生命（いのち）の安全教育推進アドバイザー（以下、「アドバイザー」という）」を派遣し、講演等を行うことで、「生命（いのち）の安全教育」の普及啓発を進めることを目的としたものである。

2. 委嘱

別紙のとおり、生命（いのち）の安全教育に関し、十分な知見を有する者をアドバイザーとして文部科学省が委嘱する。

3. 任期

承諾の日から委嘱の日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

4. 活動内容

- （1）派遣要請のあった教育委員会や学校等、及び文部科学省が実施する研修会や講演会、会議等の普及啓発活動等で行う講演等
- （2）生命（いのち）の安全教育に取り組む教育委員会や学校等に対する、授業の実施に係る指導助言等のアドバイザー
- （3）その他、生命（いのち）の安全教育の普及啓発のために必要な事項

5. 派遣の流れ

別に定める。

6. その他

- （1）別紙のアドバイザーについては、本要綱に基づき、別途文部科学省から委嘱を行う。
- （2）アドバイザーの派遣に係る経費（諸謝金、旅費）は、原則として文部科学省が負担する。
- （3）アドバイザーが、活動中にアドバイザーとしてふさわしくない行為を行った場合は、委嘱を取り消すことがある。
- （4）本件に係る庶務は、総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課男女共同参画学習室において行う。

【別紙】

生命（いのち）の安全教育推進アドバイザー

坂井 由利子 国分寺市立第十小学校 校長

森本 晋也 岩手県立図書館 館長

渡邊 正樹 東京学芸大学 特任教授・名誉教授

令和 8 年 6 月 3 日

男女共同参画共生社会学習・安全課

「生命（いのち）の安全教育推進アドバイザー」派遣運用細則

「生命（いのち）の安全教育推進アドバイザー」の派遣に当たっては、「生命（いのち）の安全教育推進アドバイザー」派遣事業実施要綱（令和 8 年 6 月 3 日総合教育政策局長決定）によるほか、本運用細則に沿って実施する。

1. 派遣の流れ

実施要綱 5. にかかる「生命（いのち）の安全教育推進アドバイザー（以下「アドバイザー」とする。）」の派遣の流れについては、以下のとおりとする。

- ① 要請する団体等（以下「申請者」とする。）は、様式 1 のとおり申請書を添付の上、文部科学省へ提出する。
- ② 申請を受けた文部科学省は、申請内容を確認し、派遣が必要と判断した場合には、派遣の対象となるアドバイザー及び申請者と日程の調整等を行った上で、申請者に対し派遣の決定を連絡する。
- ③ 決定の連絡を受けた申請者は、派遣が決定したアドバイザーと細部について調整を行い、文部科学省に確認・報告の上、受入れについて準備する。
- ④ アドバイザーは、③に基づき、現地またはオンラインで活動を行う。
- ⑤ 申請者及びアドバイザーは、活動終了後、様式 2 のとおり報告書を文部科学省へそれぞれ提出する。
- ⑥ 文部科学省は、報告書に基づき、文部科学省の所定の基準に沿って諸謝金・旅費等をアドバイザーへ支出する。
- ⑦ 文部科学省は、申請者及びアドバイザーからの報告書をまとめ、必要に応じて全国へ情報を提供するとともに、成果を検証し今後の施策に反映する。

2. その他

本運用細則に定めのないことで疑義を生じた場合には、文部科学省、申請者及びアドバイザーで協議の上、決定するものとする。

文部科学省総合教育政策局長 殿

「生命（いのち）の安全教育推進アドバイザー」派遣申請書

「生命（いのち）の安全教育推進アドバイザー」の派遣について、下記のとおり申請します。

〔申請者〕
(住 所)
(団 体 等 名)
(代表者職名・氏名)

記

研修会名 指導助言の内容等	
派遣依頼内容	<input type="checkbox"/> 研修会等の講師 <input type="checkbox"/> 助言 <input type="checkbox"/> その他 ()
派遣の目的及び依頼内容 ※可能な限り具体的に記載	<div></div> <div>1枚にまとめる必要はありませんので、必要な情報を詳しく記載願います。</div>
派遣後の取組予定	
派遣場所	<input type="checkbox"/> 対面 (場所 : 住所 :) <input type="checkbox"/> オンライン
派遣希望日時 ※候補日が複数ある場合は、すべて記載	年 月 日 (曜日) 〇〇時〇〇分 ~ 〇〇時〇〇分 ※派遣2週間前までに、事前打ち合わせ（オンライン可）を1時間程度実施すること。
派遣希望アドバイザー名 ※希望がない場合は記載不要	第1希望 : 第2希望 :
連絡担当者	(職 ・ 氏 名) (電 話) (メール)

(様式2) 報告書

「生命（いのち）の安全教育推進アドバイザー」報告書

記入者（ ）

1. 派遣結果について

申請者	
アドバイザー名	
派遣日	年 月 日（曜日）〇〇時〇〇分 ～ 〇〇時〇〇分 ～ 年 月 日（曜日）〇〇時〇〇分 ～ 〇〇時〇〇分
活動場所	<input type="checkbox"/> 対面（場所： ） <input type="checkbox"/> オンライン
内容・所感	※内容については、講演内容、指導・助言内容、成果等について記載すること。
今後の取組予定 （申請者のみ記載）	※アドバイザーの派遣を受け、生命（いのち）の安全教育の推進に向け、どのような取組につなげていこうと考えたかなど。

2. 行程確認（アドバイザーのみ確認）

※事前にご記入いただいた交通費等確認票から変更がある場合のみご記入ください。

	日 付	移動方法
往 路	／ （ ）	自宅または職場 → 駅 → 駅 → 用務地 （移動手段）
復 路	／ （ ）	用務地 → 駅 → 駅 → 自宅または職場 （移動手段）

宿 泊	／ （ ）	<input type="checkbox"/> あり（※宿泊施設名 ） <input type="checkbox"/> なし
-----	-------	--

「生命（いのち）の安全教育推進アドバイザー」派遣事業

生命（いのち）の安全教育の取組を始めようとする自治体等に、文部科学省が任命した「生命（いのち）の安全教育推進アドバイザー」を研修講師等として派遣します。ぜひご活用ください。

＜事業趣旨＞

文部科学省では、子供たちを性暴力の加害者、被害者、傍観者にさせないため、全国の学校において「生命（いのち）の安全教育」を推進しています。本事業は、「生命（いのち）の安全教育」に取り組もうとする教育委員会や学校等が実施する教職員等を対象とした研修会等に、「生命（いのち）の安全教育推進アドバイザー（以下、「アドバイザー」という）」を派遣し、講演等を行うことで、「生命（いのち）の安全教育」の普及啓発を進めることを目的としたものです。

＜アドバイザーの活動内容＞

- （１）派遣要請のあった教育委員会や学校等、及び文部科学省が実施する研修会や講演会、会議等の普及啓発活動等で行う講演等
- （２）生命（いのち）の安全教育に取り組む教育委員会や学校等に対する、授業の実施に係る指導助言等のアドバイザー など

アドバイザーの派遣に係る経費（諸謝金、旅費）は原則として文部科学省が負担します。
まずはご相談ください！

＜申請の手順＞

- ①申 請：自治体・団体等から文部科学省担当者へ、アドバイザー派遣申請書を提出
- ②相 談：派遣申請書の内容に基づき、文部科学省担当者と内容の相談
- ③決 定：アドバイザーと日程調整の後、派遣が決定
- ④打合せ：アドバイザーと直接、派遣内容や講演内容について打合せを行う
- ⑤派 遣：アドバイザーによる研修講師や指導助言などを実施
- ⑥報 告：派遣終了後、1週間を目安に文部科学省担当者へアドバイザー派遣の報告書を提出

アドバイザーの
・派遣要綱・申請書・報告書は
こちらから↓



派遣を希望する団体等は
1か月以上の余裕をもって
事前にご相談ください！

